



2018-19 年度 会長：片山 秀樹 幹事：林 たかみ 広報・会報委員長：黄堂 泰昌

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル Tel: 072-724-2781 fax: 072-724-1786  
e-mail: mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP: http://mino-orc.net/ 例会日：毎週木曜日 18:30~

## ◆今週の例会プログラム◆

2018年10月11日(木)第2393回例会  
卓話 青敬祐会員

## ◇ロータリーソング◇

奉仕の理想

## ◆次週の例会◆

2018年10月18日(木)第2394回例会  
卓話：川端崇且会員

## ◆出席報告 2018年10月4日(第2392)回例会◆

会員数：30名 出席者：21名 出席率 80.77%  
前々前回 2018年9月13日 76.92%

## ◆会長の時間

会長 片山 秀樹

皆様こんばんは。会長になり早いもので4半期が経過しました。

さて、火曜日に大きなニュースが飛び込んできました。皆様もご承知のとおりノーベル医学生理学賞に京都大学の本庶佑特別教授が受賞されることとなりました。先生の業績はテレビなどで紹介されている通り新しいがん治療方法(がん免疫療法)です。がん細胞は生体内で働くはずの免疫機能を無力化してしまうことにより増殖します。今までの治療はがん細胞に薬物や放射線を直接作用させることにより消滅をはかって図ってきました。新しい治療薬はこの免疫機能を無力させる作用を止めることによりがん細胞を消滅させます。先生の講演はここにいる方々も聞かれたことと思います。そうです、2015年12月5日の地区大会にて公演されました。少し話が変わりますがバイオの研究には多くの実験結果を集める必要があります。皆さん中学の理科の時間で使用した試験管を思い出してください。1本の試験管からは1つの結果しか出ませんのでいかに多くの実験をするかが課題です。バイオの研究者はマイクロプレート(96穴)を用いることで効率を上げてきました。さらに技術の進歩により384穴から1536穴と効率化が進み現在では1つのプレート(4センチ×4センチ)に5000本以上の試験管(10ナノリットル⇒1億分の1ミリリットル)が並ぶものまで発売されています。

今後も日本の研究が世界で認められ、科学が発展して行く次世代にわくわくする次第です。

## ◆幹事報告◆

幹事 林 たかみ

- ・ハット市長ご夫妻ご訪問キャンセルについて
- ・長寿のお祝いについて

## ◇理事役員会報告◇

## 審議事項

- ・あかつき福祉会創立40周年記念イベントについて→祝電を送る
- ・箕面市メイプル文化財団設立30周年記念式典について→会長が出席
- ・箕面地区協力雇用主会賛助会員継続について→継続を承認
- ・シンボルロードアドプト事業について→昨年度同様の協力を承認
- ・11月29日例会について(プログラム:箕面市長卓話)→納涼例会が中止になった為、それに代わる会員増強の機会として、ゲストを招待し、会場を広い部屋に移動して行う。
- ・50周年祝賀パーティー招待者リストについて→委員会作成の原案を10月25日の例会時に会員にも配布し、確認、検討していただく。
- ・例会の回数変更について→7月から現在まで例会が3回中止になり、奉仕金も枯渇してきているので、休会予定を変更し、回数を増やすことを検討したが、これは行わない。
- ・奉仕金について→上記にもあるように奉仕金の集まりに問題があるため、実情を会員に認識して頂き、協力していただけるよう例会にアピールする。
- ・決議案の提出について→提出については、クラブの会員の総意である必要があるため、もう少し検討を重ねていく。

## 報告事項

- ・会計処理について→効率化、明確化をはかり、よりわかりやすい会計処理を目指して検証・改革していく。

## ◆SAA 報告◆

## ニコニコ箱

西脇 悟 会 員：10月7日海技免状の期限が切れる事が分かり、昨日から住民票や写真撮影にと走り回っています。

芝野弘三郎会員：雨ちゃん、卓話よろしく！！

前田建司会員：雨ちゃん卓話宜しくお願ひ致します。

庄司修二会員：月初 卓話よろしく

黄堂泰昌会員：雨ちゃん、卓話よろしく！

木村知也会員、尾崎夏樹会員、浦収会員、林たかみ会員、梶山博照会員、河野優作会員

## 米山奨学会

木村貞基会員：雨ちゃん、卓話よろしくお願ひします！

片山秀樹会員：アメちゃん、卓話よろしく！！

西脇悟会員、芝野弘三郎会員、木村知也会員、尾崎夏樹会員、浦収会員、前田建司会員、佐藤修会員、河野優作会員、庄司修二会員、黄堂泰昌会員

## ロータリー財団

川端崇且会員：趙さん、卓話よろしく

芝野弘三郎会員、尾崎夏樹会員、浦収会員、前田建司会員、西宮富夫会員、木村貞基会員、庄司修二会員、黄堂泰昌会員

## ポリオ

尾崎夏樹会員

## ◆卓話◆

『これまでの奨学生の生活で得たものや、日本留学の成果などについて』

米山奨学生 趙 雨桐

今まで、ずっと家族の親戚たちに子供扱いされています。体が小さいなどの外観的な理由だけではなく、勉強ばかり注目して、この世に対する経験が少ないことが一番の理由だと思います。



9月まで、日本に来る留学生生活が丸ごと2年になりました、自分の成長は自分の目でも確かめます。最初は一人生活が簡単だと思われていますが、実際に経験してみますと、かなり複雑なことです。

お金の管理：学校に過ごす時間以外に、せっかく日本に来たので、綺麗な風景も見なきゃいけないです。

奈良、神戸、京都、大阪、東京、金沢、広島にも行きました。先日も学友の皆さんと一緒に竹田城跡にも行きました。以前から両親の送金でも、現在の奨学金でも、このように日常生活、学校生活及び旅行にも行けるのお金の使い方が、将来の生活にすごく役に立てると思います。

自己管理：学部時代は中国の漢方薬を勉強し、今は癌に関することを勉強します。今まで勉強した薬学知識を実用して、自分に薬膳を作ったり、適切なトレーニングを取ったりして、風邪を引いたことなく、健康に生きています。今後両親の世話に自信を持ってきました。

人生の道：どのように後悔のない人生を過ごせるのかについて、一人にいる時よく考えます。昨日の自分を超越することが重要だと思います。人はそれぞれ違います、他人との比較は必要なく、昨日の自分よりちょっとだけ成長しても、後悔のない人生の道を歩み続けます。

日本に留学して、本当に良かったです。今の身分も学生ですが、一人前の大人に近づきました。お婆ちゃんも「一人外国でちゃんと生活しているな」と言いました！これが両親からの支援の最適な報いだと思います！



## 米山奨学会シンボルマークについて

重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」を表しています。外国人留学生の支援・交流を通じ、国を超えた絆や信頼関係を築き、やがて、一人ひとりの胸に世界平和を願う心を育てるといふ、事業創設の願いが込められています。

手は、そうした心を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。